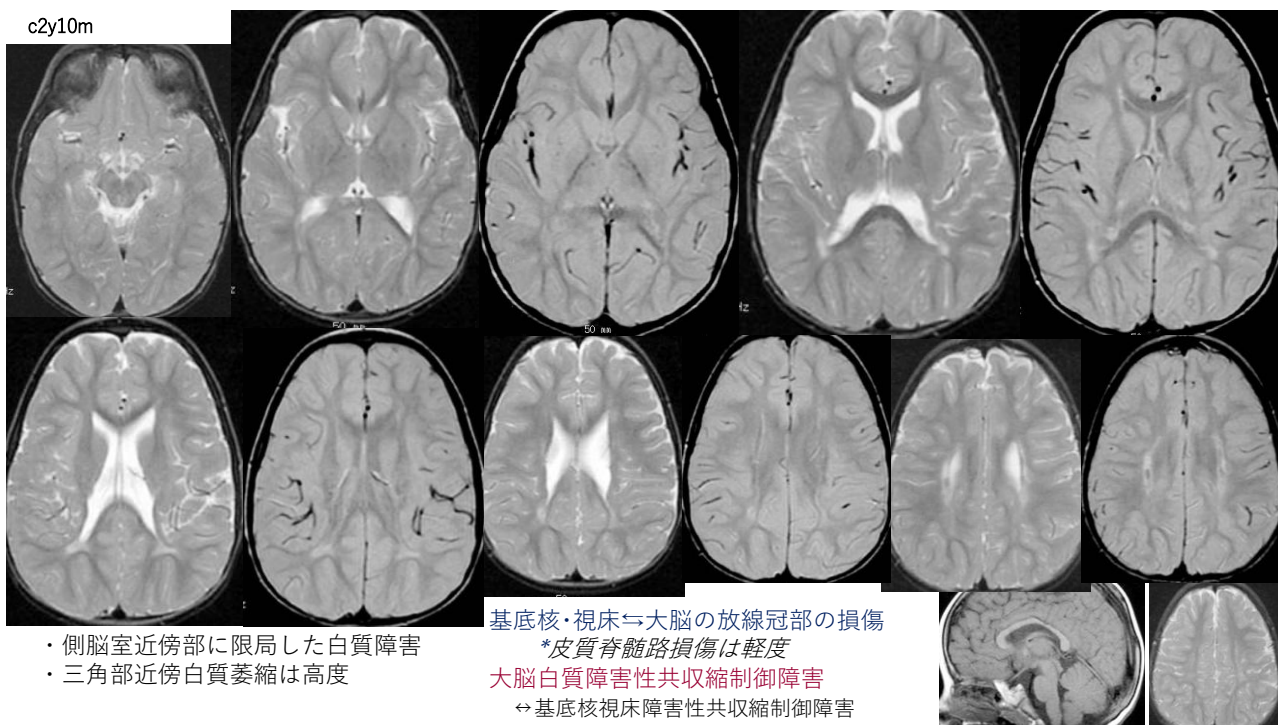


早産大脳白質性共収縮制御障害 -1-



1

c2y10m



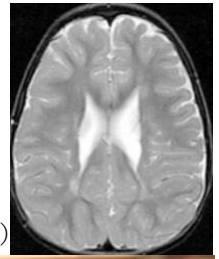
2



32w 独歩 c4y7m
軽度知的障害

早産アテトーゼ

力が入った発声
(アテトーゼ様)



c9y8m 股内旋が痙性パターン



- ・股屈曲位で固まり伸展しにくい
- ・股膝伸展位で固まり屈曲しにくい→膝は過伸展(反張)となる
- ・頸後屈位で固まる *頸回旋位で固まることはない 共収縮制御障害
- *膝の分離運動なし かしい直線的な共同運動はない 不全型共同運動 分離運動制限
- *股膝屈曲が優勢 股屈曲過活動
- *股外転もあり 股伸展荷重制限 (軽度)

大脳白質障害性共収縮制御障害優位diplegia

3

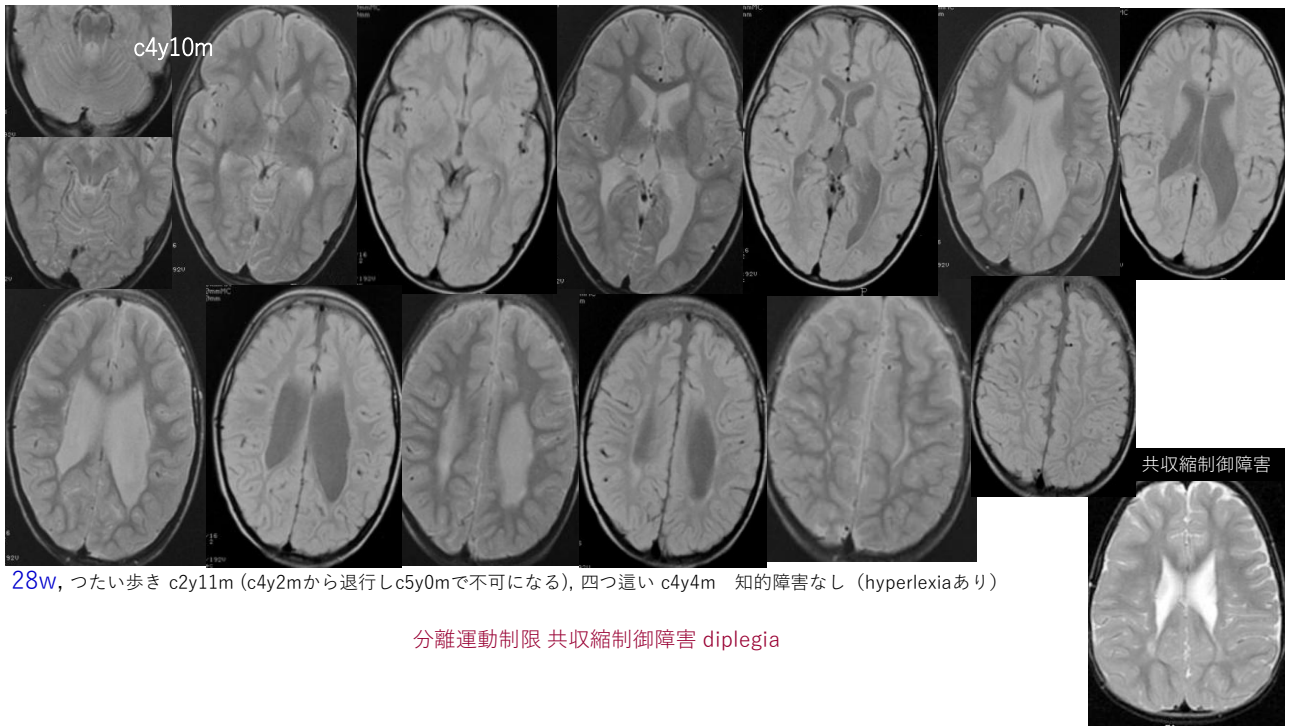


- ・股屈曲位で固まる
- ・股膝過伸展足底屈位で固まる 大脳白質障害性共収縮制御障害優位diplegia
- ・開口位で固まる
- ・頸後屈位で固まる
- ・左手屈曲位で固まる
- ・肘は後方で固まる 手が前に出にくい

前腕回外位手前出し

c1y11m

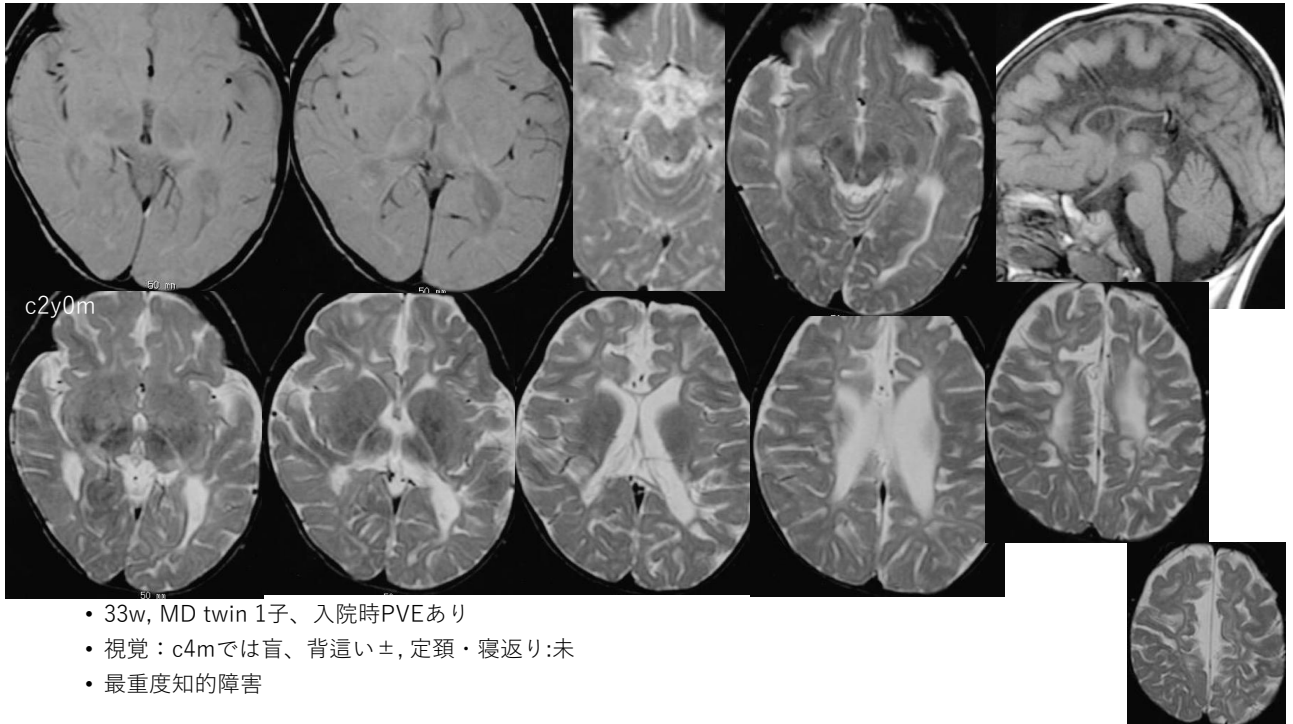
4



5



6



- 33w, MD twin 1子、入院時PVEあり
- 視覚：c4mでは盲、背這い±、定額・寝返り:未
- 最重度知的障害

7

• 33w ・ 中性視覚障害(c4mでは盲) ・ 寝返り不可 ・ 最重度知的障害

c4m ・ 股屈曲 ・ 股外転

c2y4m ・ 股屈曲 ・ 股外転

頸後屈 ・ 股屈曲 ・ 股外転

共同運動の下肢伸展

眼球下転

c5y1m

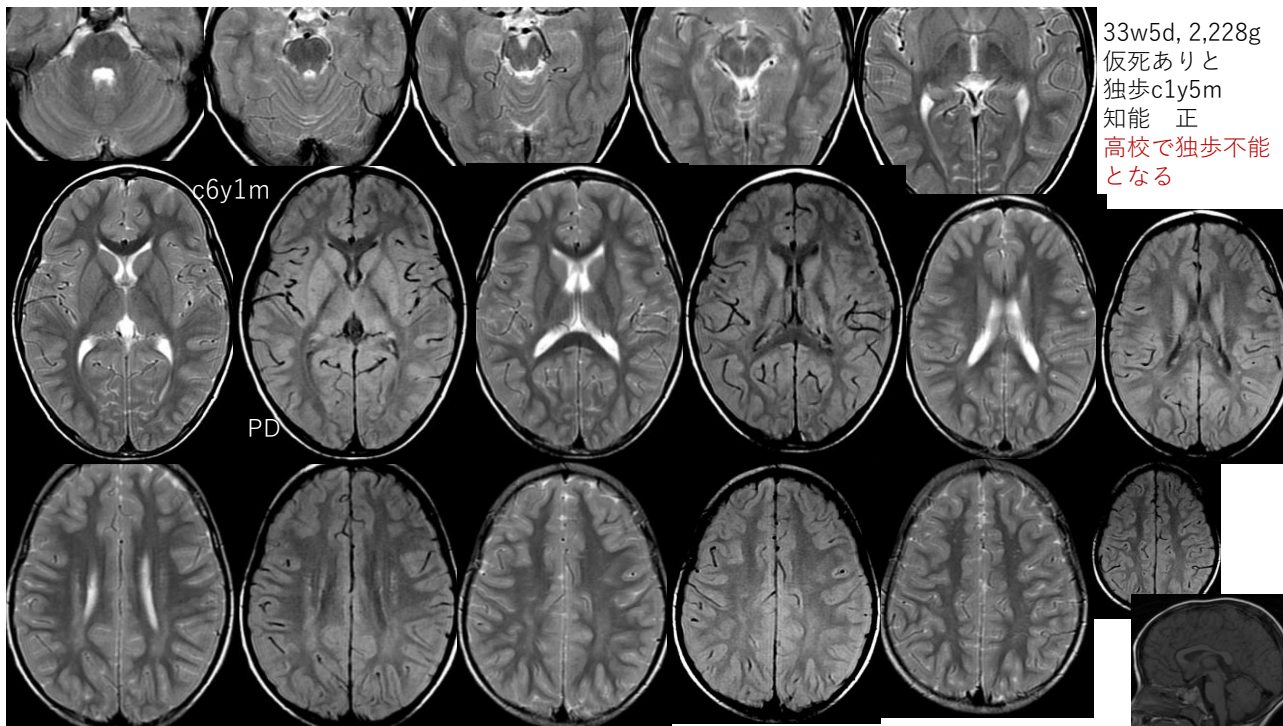
頸体幹伸展

c6y0m 笑顔の頸体幹伸展

分離運動制限
共収縮制御障害
高度股伸展荷重制限
共在型持続的筋過活動状態
diplegia

共同運動 *かたさがない *完全伸展までいかない
不完全共同運動 分離運動制限
肩回旋・上肢打ちつけ 過開口でかたまる 共収縮制御障害
寡動・股外転 高度股伸展荷重制限
股膝屈曲が優勢 股屈曲過活動
頸体幹後屈が持続的に強い 共在型持続的筋過活動状態

8



9



10

早産大脳白質性共収縮制御障害

- ・股屈曲位で固まる
- ・股膝過伸展足底屈位で固まる
- ・開口位で固まる
- ・頸後屈位で固まる
- ・肘は後方で固まる *手が前に出にくい*
- ・肩回旋・上肢打ちつけ
- ・過開口でかたまる *緩徐・努力性発声*

11

早産小脳障害例に見られる不随意運動（身ぶるい）

吉永治美, 他: 早産児にみられる小脳障害に伴う特異な不随意運動に関する検討. 脳と発達 44(3): 239-243, 2012.



- ・不随意運動の特徴
 - ・バタバタとした手足のバラバラな粗大運動
 - ・同一肢位を1秒間も保てない
- ・在胎23～27wの小脳障害例にみられる
- ・修正3～5mから出現
- ・乳児期後期消失～6歳で残存

12



- 体幹の交互側屈の繰り返しが主 ビクビクもあり
- 股屈曲位と股伸展内転位の交代
- 自発運動（異常運動を除けば）は寡動



- 股屈曲内転・膝屈曲が優位
- ビクビクは減る